

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（店長）	・8月に開催される北京オリンピックに向けて、AV機器の動きが活発になる。
	やや良くなる	その他専門店〔酒〕（経営者）	・当業界は、春から夏にかけて、これから3か月間は大変良く売れる時期なので良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・シルバー層を中心に、個人の旅行需要はおう盛である。これから旅行シーズンに入ってくるので販売量は増加してくる。
	変わらない	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・ガソリン・食品などの物価が上昇するなか、消費する気分になることは考えにくい。
		百貨店（売場担当）	・クールビズも定着してきており、気温が高くなれば少しは活気が出てくるかもしれないが、必要最小限の購買が顕著な現状を考えると、あまり期待できない。
		百貨店（営業担当）	・日により繁閑の差が大きく、ファッション商品は相変わらず当用買いに終始している。
		スーパー（店長）	・身近な日用食材の物価上昇の話聞くことが増えたが、そのことで、今後さらに景気が悪くなるという実感は無い。
		スーパー（企画担当）	・原料の高騰により、消費者は買い控えなどの慎重な行動になるものと思われる。
		衣料品専門店（経営者）	・3か月後にはボーナスの時期になるが、現在の客の動きはこのままで推移すると思われる。
		家電量販店（営業担当）	・家計に直接響く新生活対応商品の購入が多くなる時期であるが、買い控えを助長する要因が、例年に増して多くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・良くなる要素が、見当たらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・3月後半～4月にかけての動きが、例年と違った動きになっている。特に今後良くなるという見方はできない。
		乗用車販売店（管理担当）	・物価高騰により、車購入にまで資金が回らないことが懸念される。
		観光型旅館（経営者）	・旅行に関して、5月の連休の動きは悪い。良くはならないが、急激に悪くもならない状態が続く。
		タクシー運転手	・ゴールデンウィークもタクシーの利用に期待できない。
		タクシー運転手	・梅雨時期の乗車数はあるが、単価の上昇はないので変わらない。
	通信会社（管理担当）	・業界の再編及び販売方式の変更等により、業界全体が活性化される可能性はあるが、端末等販売量が大きく動くことは想定しにくい。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・消費が浮上する要素が全く見当たらない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・今年は、「母の日」の注文が入るのも遅く、数量も少ない。同業者との間では、あまり期待できないと話している。
		百貨店（営業担当）	・4月に必需品を買いだめするという傾向の余波を受け、売上が伸びず、今後さらに景気は悪化すると思われる。
百貨店（販売促進担当）		・商業施設の新規オープンの影響が懸念される。	
スーパー（店長）		・ガソリンの再値上がりが影響して、景気の後退もあると思われる。	
スーパー（財務担当）		・エネルギーや穀物の高騰が消費活動に影響を与えられる。	
衣料品専門店（経営者）		・フリー客への売上のウエイトが下がってきており、常連客の単価も低下傾向にある。衣料品販売は、苦戦が予想される。	
乗用車販売店（従業員）		・再度ガソリン税が加算され、ガソリン価格が大幅にアップするれば景気が悪くなり、非常に厳しくなる。	
一般レストラン（経営者）		・5月になりガソリン価格が元に戻った場合、さらに購買意欲が抑制される。	
一般レストラン（経営者）		・飲食業の場合、ほとんどの材料が値上がりしているが、客離れを懸念して、価格に転嫁できない。	
都市型ホテル（経営者）		・最近、近場の方の車による来客が減っている。その上、来月早々にガソリン価格が上昇するというので、先行きの予約状況が良くない。	
タクシー運転手		・5月に入って、いろいろなものが値上げになり、節約のため、ますますタクシーを利用する客は減ってくると思われる。また夏場は、四国八十八箇所のお遍路が無いので、どこまで悪くなるか不安である。	

		観光名所（職員）	・ガソリンの値上げ等で、個人客の車で来客が減ると思われる。
		設計事務所（所長）	・建設会社の低価格での入札が多くなってきている。
悪くなる		商店街（代表者）	・郊外店のオープンで来街者は必ず減る。ガソリン・物価の上昇と重なり、当面は良くなる材料が無い。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・保険料の引上げ、ガソリンの値上げなど、消費に回ってくるお金が少なくなってくる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・地方では給与ベースアップが、物価水準上昇に追いついていないため、外食を含むアルコール飲料に回せるお金が削減されている。
		スーパー（店長）	・景気に影響するほどの値上がりとなっており、売上が伸びない。
		スーパー（店長）	・小麦、原油、雇用保険料などの価格上昇と、県の雇用状況からみて、さらに売上は低下していく。
		スーパー（統括担当）	・これだけ給料が上昇せず、物価だけ上昇すると景気は悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・暫定税率復活によるガソリン価格の上昇などで物価が上がっているため、買い控えがある。
		美容室（経営者）	・暫定税率が再度復活する動きや、粉物などの物価高のため、消費意欲の衰退が進んでいる。
		設計事務所（職員）	・道路特定財源問題が長期化、または未解決で推移しそうであり、今後さらに悪くなる。1次産業と建設業が基幹産業となっている地方経済はさらに悪化し、景気浮揚の兆しも見えない。
	企業 動向 関連	良くなる	-
やや良くなる		電気機械器具製造業（経営者）	・製薬関係、化粧品関係業務の見積もりを海外の企業に出しており、2、3か月先には受注ができるだろうと予測している。
変わらない		繊維工業（経営者）	・小売店からの引合いは増加傾向にあるが、売上が増加しても原材料、加工賃の高騰により利益確保が難しくなっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・新年度に入り、国からの受注も予想される。海外向けの商談成立も期待しているが、量的アップは望めない。
		通信業（支店長） 通信業（営業担当）	・受注量が、急激に回復する要素が見当たらない。 ・今年のゴールデンウィークは、安・近・短のレジャー・旅行ばかりで、ガソリンが安いうちに近場で済ませるなど、楽しい話題が少なく、個人消費が大きく拡大すると思えない。
やや悪くなる		一般機械器具製造業（経理担当）	・改正建築基準法がまだ影響しており、レンタル業界の引き合いは非常に少なくなっている。この傾向は、7月ごろまで続くとの見方が多い。
		不動産業（経営者）	・取引先、銀行員との話の中で、銀行も、住宅ローンや融資による破綻等を懸念して、審査も厳しくなっているとこのことで、不動産業界に関しては、先の見通しが暗い。
		広告代理店（経営者）	・県の印刷業界に明るい話題が少ない。中堅印刷会社の倒産など、業界自体の冷え込みが企業を直撃しつつある。
		広告代理店（経営者）	・原価高騰等により経営が厳しいと予測して、得意先からテレビ広告等のレギュラー契約金額削減の依頼がある。
		公認会計士	・関与先企業からの融資の相談が急増している。各企業が資金繰りに窮しており、景気は悪化する。
悪くなる	建設業（総務担当）	・資材の高騰が見込まれ、収益を確保することは困難である。	
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・当社の新規媒体投入で市場が活性化しており、特に5月からの3か月間は良くなる。
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	・昨年と今年の1～4月の求人数を比較すると、ほとんど変化が無いので、今後2～3か月間も変わらない。
	やや悪くなる	民間職業紹介機関（所長）	・利益面につながらない広告費・接待費等の管理経費を切り詰めている企業が増えている。
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・広告だけで冷えた消費を回復できないため、各企業は今以上に守りの経営に向かう。
職業安定所（職員）		・求人倍率は、この3か月で0.21ポイント低下しており、この傾向を改善する要因が今のところ見当たらない。	